

# 授業・評価改善事業(小・中学校)

## 1 事業目的

- ・各学校の教師が、「コンパスカリキュラム ～指導と評価の計画～」を授業づくりに役立てることで、児童生徒一人一人の学力の向上を図ること。
- ・教科書の内容に準じた「コンパスカリキュラム ～指導と評価の計画～」を作成することで、授業・評価改善委員の指導力の向上を図ること。

## 2 事業内容

教科書の内容に準じた年間指導計画「コンパスカリキュラム ～指導と評価の計画～」を作成しています。すべての単位時間において、具体的な教師の発問を位置付けることで、教員経験の浅い教員や小学校において専門としていない教科を教える教員の授業の充実をめざしています。また、各教科における主体的・対話的で深い学びを実現する指導の在り方や評価規準を記載するなど、授業や評価の工夫・改善をめざしています。

本年度は、音楽科部会（小学校のみ）、英語科部会（小・中学校）、特別の教科道德部会（小・中学校）を開催しました。特別の教科道德部会では、教科書の内容に準じた時案を作成したり、音楽科部会ではプログラミング教育の視点を大切にして時案を見直したりしました。また、小学校と中学校が合同で開催した英語科部会では、9年間の系統性を大切にした指導計画を作成しました。

各教科の部会は、市内校長を顧問とし、教頭及び主幹教諭を各教科の委員長、教諭を委員に任命して行っています。

【令和元年度】 小学校：校長2名、教頭2名、教諭25名 …合計29名  
 中学校：校長2名、教頭2名、教諭15名 …合計19名

【単元名】 風やゴムで動かそう 3/11	
【本時のねらい】 風の強さを変えて車の動き方を調べ、結果をわかりやすく整理することができる。	
学習活動	評価規準
1 導入指示【空気機を提示し、強、中、弱の風を体験させる。】 ○風の強さによって、車の動くきよりにちがいはあるかと思いませんか。 風の強さをかえると、車の動くきよりにちがいがあるとはなるか。	【ICT】 データ ・実験方法を ・タブレット し、グラフ ・車が止まった け、全員が確 定するなど、 間を分ける。
2 予想 ○風が強くなると、車の動くきよりがどのように変化するかを考えましょう。 ・弱だと、少ししか動かないと思うよ。 ・強だと、たくさん進むよ。	【指導・観察】 ・結果を表 結果とわか ける。 ○強、弱の と、動き方 を交流す
3 実験【車に風を当てる強さを調べて確かめる。】 ○風、たきよりを表に記録して、グラフにしましょう。また、その後タブレットPC に入力しましょう。 (車に風を当てる強さを覚えて、車の動くきよりを調べる。) (ワークシート 資料編P214)	
4 交流・まとめ【話し合い学習】 ○強、弱のとときと強、弱のとときで車の動き方をくらべよう。	

【カリキュラムの一例（理科）】

## 3 今まで各校に配布した冊子 と DVD

今まで授業評価改善委員会では「コンパスカリキュラム ～指導と評価の計画～」(小学校は各学年毎、中学校は教科毎)を作成し、各校に配布しました(本年度は、小中学校ともDVDを配布する予定)。冊子になっていることで、すぐに調べることができ、授業改善に活用されています。また、改善案を朱で直接書き込み、学校独自の指導計画としても活用されています。

さらに、デジタルデータをDVD化し、各校のサーバから自由に閲覧することで、授業実践に役立てるようにしています。



【DVD】



【コンパスカリキュラム ～指導と評価の計画～】